

ろう者と聴者が共につくる人形劇団

デフパペットシアター・ひとみ

第14回全国公演作品

河 の 壺

かわのわっぱ

この世界は、
あなたにはどう見えていますか？

脚本・演出

立山ひろみ

■原作

火野葦平「河童曼陀羅」

2019.6.9日

開場 13:30 開演 14:00 終演 15:10 予定


まなみーる岩見沢市文化センター中ホール

<入場チケット>

全席自由 1,000円

※ 当日券500円アップ ※ 高校生以下入場無料
※ 未就学児童入場可能

【主催】公益財団法人現代人形劇センター、NPO法人はまなすアート&ミュージック・プロダクション

【助成】  文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

【後援】(一財)全日本ろうあ連盟、NPO法人日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター)、岩見沢市、岩見沢市教育委員会



ろう者と聴者が共につくる

デフパペットシアター・ひとみ

【企画制作】公益財団法人現代人形劇センター

【お問合せ】はまなすアート 0126-22-4235

デフパペットシアター・ひとみ

第14回全国公演作品

あらすじ

河童はのんびり自分の井戸で平和にくらしています。水はキラキラ輝き、鯉やゲンゴロウ、蟹なんかと一緒にゆったりゆらゆらと。河童の世界は、そこにすべてがあります。にんげんに会うと攻撃されたりするので、なるべく会わないようにしていますが、小さい子どもと遊ぶのは大好きなので、たまに相手をしてやります。

ある日のこと、村に雨が降らなくなりました。突然にんげんたちは、その原因を河童のたたきだと考えてしまうのです。河童と子どもたち、そしてある少女との出会い。おとなになったにんげん達と河童をめぐるストーリー。

河の童

河童といえば、日本人にとっても親しみのある「あやかし」ではないでしょうか。ときには、川に馬や人間をひきずりこむといういたずらな存在として、また、ときには、畏れ敬われる、神様のようにも描かれています。地域によってもさまざまな伝説や言い伝えとして、受け継がれてきました。

今回デフパペットでは、河童と人間のすれ違いや、河童にとっての大切な世界を丁寧に描いて、異なる世界に生きている河童と人間に焦点をあて「共にいきるとは」その本質に迫ります。「デフ・パペットシアター・ひとみ」だからこそ出来る表現の可能性に迫りました。ぜひご期待ください。

河の童

かわのわっぱ



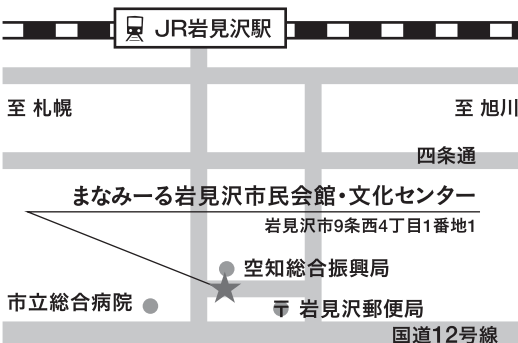
■ 出演：デフ・パペットシアター・ひとみ

デフ・パペットシアター・ひとみはろう者(deaf)と聴者が共に創作～公演活動を行う人形劇団です。「ひょっこりひょうたん島」でおなじみの人形劇団ひとみ座を母体に1980年に結成しました。「すべての人に人形劇を」のコンセプトのもと、年齢や性別、母語、宗教の違いや身体のハンディを超えて、すべての人が共に楽しめる人形劇の創作、公演活動を続けています。



まなみーる岩見沢市民会館・文化センター

岩見沢市9条西4丁目1番地1 TEL 0126-22-4233



無料駐車場あり(台数に限りがあります。)

入場チケット

全席自由 1,000円

- ※ 当日券500円アップ
- ※ 高校生以下入場無料
- ※ 未就学児童入場可能

Play Guide

前売りチケット販売所

- はまなすアート(まなみーる内) 0126-22-4235
- 岩見沢市観光協会 0126-22-3470
- ホテルサンプラザ 0126-23-7788
- 北海道教育楽器 0126-22-6220
- A コープほろむい店 0126-26-2114
- 砂川市地域交流センター ゆう 0125-54-3111
- たきかわ文化センター 0125-23-1281